

周遊型アートイベント

Lightseeing Kyoto South

Lightseeing Kyoto South
2026 | 10.24土-11.23月・祝

13:00-18:00 | 金土日祝のみ | 入場無料

参加アーティスト:

OASIS 2、近隣シジジー、熊谷卓哉、小松千倫、
佐藤真優、寺本遥、村本剛毅、モノ・シャカ、山本啓 ほか

参加グループ: 京都市立芸術大学 油画研究室、
京都市立美術工芸高等学校 洋画専攻2年生

参加プロジェクト: KYOTO ART PRODUCT

会場:

崇仁市営住宅9棟、hatoba cafe、
ギャラリー京都七条、京都駅ビル 7階「東広場」

主催: 京都市 | 技術協賛: 株式会社写真化学 | 協賛: 寺田倉庫株式会社、チームラボバイオウォールテックス京都有限責任事業組合

Lightseeing Kyoto South

2026.10.24^土–11.23^月・祝 13:00–18:00 | 金土日祝のみ

「Lightseeing Kyoto South」は、京都市南部の京都駅東部・東南部エリアの複数の拠点を目玉に、若手アーティストたちの作品を通じて、このエリアを見つめる試みとして2025年に始まりました。2026年はその考え方を深め、「何を見るか」ではなく、「どのように見えるのか」「何によって見えているのか」という根本的な問いに焦点を当てます。イベント名の「Lightseeing」という言葉は、「sightseeing=観光／名所を見ること」を踏まえながら、その焦点を「見るべき対象」から「見え方そのもの」へと移すための造語です。名所をめぐるのではなく、光を通じて場所を見つめること。あるいは、これまで見えていなかったものが見えはじめる瞬間に立ち会うこと。それは、都市を固定された風景として捉えるのではなく、他者との関係、時間、記憶、身体、環境、そして

想像力が重なり合うことで、絶えず見え方を変えていくものとして受け止める態度でもあります。

このエリアに光を当てることは、変化の只中にある場所に対して、性急に答えを与えるものではありません。アーティストと共に、歴史、経済、教育といった複数の視点からこの場所を捉え直し、地域の人々の理解を得ながら、いまこのエリアがどのように見えうるのか、そしてこれからどのような公共性や創造性を宿しうるのかを、時間をかけて考えることでもあります。

Lightseeing Kyoto South 2026は、都市のこれからに、新たに見えはじめる光を、地域に関わる人々と共に見出ししていく試みです。

◎ 崇仁市営住宅9棟 | 京都市下京区屋形町7-1

3つの店舗跡地や住戸空間、中庭を舞台に、住居としての役割を終えた市営住宅に新たな光を灯します。市営住宅という建物の特性を生かしながら、アーティストによる新作展示やプロジェクトを展開します。インフォメーションセンター（105号室）では、Lightseeing Kyoto South についてはもちろん、京都駅東部・東南部エリアに関するさまざまな情報を交換できます。

OASIS 2 | >1

1989年岡山県生まれ。京都の街外れにて不明瞭なvintageを販売。既存の古着価値の剥離作業を日々行いつつ、モード圏外でのファッションの境目、及びその和訳や誤訳の着地点を模索中。それに並行してTシャツの制作、そのデザインの余地、抜け道、裏通りの探索にも励む。

小松千倫 | Komatsu Kazumichi | >2

1992年高知県生まれ。京都市在住。音楽家、美術家、DJ。これまでに世界各地のレーベルやパブリッシャーより複数の名義で膨大な数の音源をリリースしている。また、音や光を身体や環境に作用する「波」として捉え、揺れや遅れなどの時間を経験可能なものとして調律するための制作やパフォーマンスを行う。

モノ・シャカ | >3

『モノ・シャカ』は京都を中心に活動する作家集団、及び発行する季刊同人誌の名。「モノ・シャカ派」の中核。京都大学総合人間学部の同窓生により2018年に結成し、小説、詩、エッセイ、評論などを掲載。各号毎にテーマを設定（例：『鴨川』『死、不条理、もしくは笑ひ』『余所者』『傷』など）し書く。

KYOTO ART PRODUCT | >4

京都発、アーティスト×企業の共創をしるプロジェクト。コラボ作品やプロダクト製作、展示を通して、京都から産業とアートが接続するきっかけが創りだせたらと考えます。展示内では複数の事例を展示し考察していきます。

近隣シジジー（佐藤真優＋土屋咲瑛）| >5

団地やニュータウンを基軸に制作するユニット「近隣シジジー」。その特有の空気をドローイングや短歌で表現する土屋咲瑛と、写真で表現する佐藤真優により2025年結成。両名とも京都市立芸術大学油画専攻出身。同年、アートブック「ステルス プレイロッド イン タウン」を共同制作し活動を開始。

佐藤真優 | Sato Mayu | >6

2000年大阪府生まれ。京都市立芸術大学油画専攻を卒業後、写真表現大学にて写真を学ぶ。人気のない街並みがはらう異質な空気感や、オブジェクトの純粋な存在感を写真と油彩で表現している。近年はニュータウンや国内のリゾート地など、その土地の文脈から切り離された風景に関心を持って制作している。

土屋咲瑛 | Tsuchiya Sae

1999年大阪府生まれ。2024年京都市立芸術大学大学院美術研究科美術油画専攻修了。関西を中心に作家として活動。自分からは見えない自分自身について、目の前にあるものを捉えることをテーマに、主にドローイング、既製品、編み物、アニメーション、テキストなどを使用したインスタレーションの形式で制作を行う。

村本剛毅 | Muramoto Goki | >7

1999年山口県生まれ。東京都在住。アーティスト。閉じた絵に映像を投影する光学装置、瞬きによって視界を他者と共有する眼鏡、語訳の履歴を縫い合わせた地図など、独自の「媒体」を発明・彫刻する実践を通じて、知覚やコミュニケーション、移動を含む「媒介」について探求している。

寺本遥 | Teramoto Haruka | >8

1997年滋賀県生まれ。京都市立芸術大学美術研究科修了。現在、東京と京都を拠点に活動。映像作家／監督としてミュージックビデオなどの映像を手がける。映像の形式的条件——フレームの速度や配置、固定された視点、精確でありながら不完全な記録性など——を、詩的条件あるいは主題として探求し、異なる要素の重畳、変換と誤読、列挙を主な手法としている。

熊谷卓哉 | Kumagai Takuya | >9

1987年京都府生まれ。武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。現在、京都を拠点に活動。日々目にするモノや場、行為などを公／私それぞれの視点で収集し、「彫刻」として並べ置く。作品制作や展示に加え、企画・キュレーション等を通じて「彫刻」と呼ぶ条件や公私の併存を模索する。近年は主に3DCGや3Dプリントを用いて、鑑賞者との関係性や素材と構想に注目し、彫刻の概念的拡張とその可能性の探究を行っている。

107号室＝OASIS 2、小松千倫

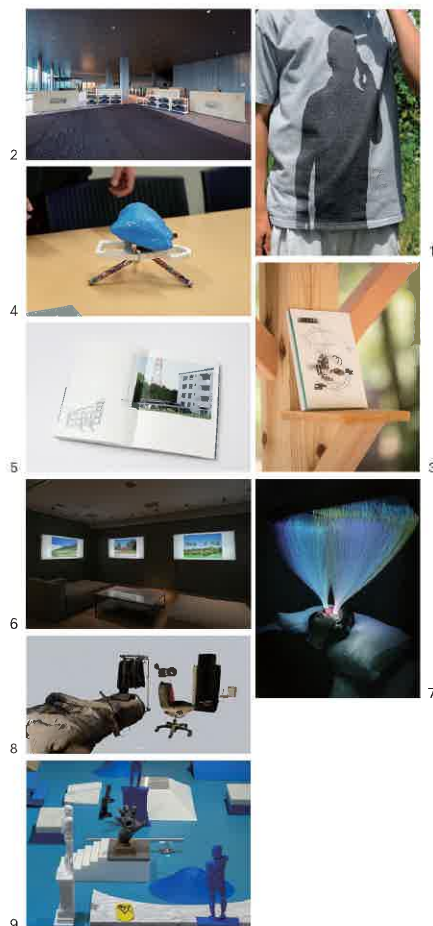
106号室＝モノ・シャカ、KYOTO ART PRODUCT

105号室＝近隣シジジー、佐藤真優

103号室＝村本剛毅

112号室＝寺本遥

中庭＝熊谷卓哉



2: photo by Hirofumi Nakaji
3: 『第五巻（画）』2019
4: Funny Dress-up Lab [IKEZU] Play in Support of the Unseen 2025
5: photo by Sato Mayu
6: 熊谷卓哉「Vacant Image」空（から）のイメージ、2026
7: Goki Muramoto
8: {a room} 2022

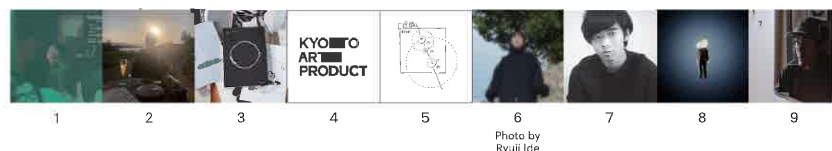


Photo by
Ryuji Ide

京都市立芸術大学 油画研究室による風景課題のアーカイブを紹介します。
大学移転後、学生たちは崇仁・東九条の街を歩き、地域の歴史や文化、
人々の営みに触れながら風景を描いてきました。本展示では、風景画に加え、
まち歩き記録やリサーチの成果物などを通して、「風景を描く」ことから
生まれる地域との対話や、その記憶を未来へとつなぐ可能性を紹介します。

| 開催日時 | 10月24日[土]–11月23日[月・祝] 13:00–18:00

(金土日祝のみ、休館日:11月3日[火・祝])

京都市立芸術大学 油画研究室

京都市立芸術大学の油画研究室では、2023年の崇仁地域への大学移転を機に、地域との関わりを
通して風景画について考察する取り組みを続けています。1回生の基礎課題として制作された風景画や、
「まち歩き」を通して制作された風景画を、地域の協力のもと街中のさまざまな場所で
毎年継続的に展示しています。こうした活動を通して、風景画と地域との関係のあり方について
考える機会をつくっています。



「街のなかの風景画展」展示風景、2025年(喫茶アミー)



京都市立芸術大学油画専攻学生による「風景課題制作」「まち歩き」

京都市立美術工芸高等学校洋画専攻の2年生と共に取り組む展覧会。
キュレーターがLightseeing Kyoto Southの考え方を生徒たちと共有し、
そこから生まれるそれぞれの視点をもとに、自由課題として絵画を制作します。
さらに展示空間についても共に考え、作品をつくることから展覧会を
つくることまでを実践します。

京都市立美術工芸高等学校 洋画専攻2年生

京都市立美術工芸高等学校は今年で創立146年を迎える、美術工芸を専門に学ぶ公立高校です。
日本画・洋画・彫刻・漆芸・陶芸・染織・デザイン・ファッションアートの8つの専攻を有し、
今回のLightseeing Kyoto South 2026では洋画専攻の2年生が参加します。
美術の学びを学内から地域へと広げ、高校生のまなざしで「光」を描きます。



Lightseeing Kyoto Southにおける京都市立美術工芸高等学校 洋画専攻の展示風景、2025年(ギャラリー京都七条)

京都の玄関口である京都駅を舞台に、山本啓が京都各地で採集した音によるサウンド・インスタレーションを
展開。街や山など、実際には離れた場所の音が重なり合うことで、窓の向こうに広がる京都の風景を
新たな感覚で捉え、融合させる。さらに、誰もが自由に演奏できる常設の「駅ピアノ」を来場者が奏することで、
さまざまな京都の音と響き合い、その場、その瞬間にしか生まれない「京都の音楽」が立ち現れます。
10月17日[土]–11月3日[火・祝] 13:00–20:00



山本啓 | Yamamoto Hiraku

滋賀県出身。楽器はもちろん、自然音や工場から出る騒音までも音楽の素材として使うサウンドアーティスト。
アンビエント、ポストクラシカル、ミニマル等のジャンルを彷彿とさせるソロライブではバイオリン、ギター、
ピアノ等の生楽器にエフェクトやループを使うという、クラシカルなサウンドと現代的な手法を組み合わせた
演奏スタイルで国内外で活動。また、2004年結成のインストバンドNABOWAのメンバーとしても活動中。
京都市のプライベートスタジオ「THE GATE」で日々創作と研究を重ねている。



Hear and There / (サウンド&ビジュアルブック) | 写真:中島光行 音楽:山本啓

▼ イベント情報

会期中には、トークイベントやまち歩きなどのイベントも開催予定です。 ※詳細情報は、順次公式Instagramアカウントにて公開いたします。

LKSアーティストトークイベント

登壇者:近隣シジジー(佐藤真優+土屋咲瑛)、小松千倫、大倉佑亮、渡邊賢太郎

日時:10月30日[金] 19:00–20:30

会場:TERRADA ART STUDIO 京都 | 参加費:無料

第2回京都駅ビル芸術祭 ゲイジツノエキ2026/GNE 企画関連イベント

出演者:山本啓 | 日時:調整中

会場:京都駅ビル 7階「東広場」 | 参加費:無料

OASIS 2と小松千倫による共同企画イベント

① 散歩

OASIS 2と小松千倫が、参加者と会話をしながら、京都駅を中心としたエリアを歩くプログラム

日時:10月31日[土] 17:30–18:30 | 集合場所:崇仁市営住宅9棟107号室

参加費:無料

② Faded Yah Man 6

OASIS 2と小松千倫の共同企画によるマイクロレブシリーズ。DJやライブなどを行い、
人々がゆるやかに集う場をつくります。

日時:11月7日[土]–8日[日] 13:00–18:00

会場:崇仁市営住宅9棟107号室 | 参加費:無料

③ ウニョン先生の韓国語講座

ソウル出身のアーティスト、チョ・ウニョンによる韓国語講座。

すぐに使える簡単な日常会話を楽しく学べます。

日時:11月14日[土] 16:00–17:00 | 会場:崇仁市営住宅9棟107号室 | 参加費:無料

トークイベント「京都駅周辺の未来を、アートとクリエイティブから考える」

京都駅東部・東南部エリアの未来を、アートとクリエイティブの視点から語り合うトークイベント

登壇者:

上ノ園正人 | ロフトワーク京都ランチ共同事業責任者

大倉佑亮 | Lightseeing Kyoto South 共同キュレーター

高橋亮 | TERRADA ART STUDIO 京都/Pause One 代表

渡邊賢太郎 | Lightseeing Kyoto South 共同キュレーター

日時:11月20日[金] 19:00–20:30 | 会場:TERRADA ART STUDIO 京都

参加費:一般 1,000円、学生 500円

主催:TERRADA ART STUDIO 京都 | 協力:株式会社ロフトワーク、Lightseeing Kyoto South 2026

クロージングパーティー

これまでの成果を分かち合い、今後の新たなスタートに向けた交流の場を催します。

どなたでも気軽に参加できるような楽しい企画を考えていますので、みなさんお誘いの上、
ぜひお立ち寄りください!

日時:11月21日[土] | 会場:崇仁市営住宅9棟

📌 連携イベント

Lightseeing Kyoto South 2026と同時期に、周辺で開催される多数のプログラムをご紹介します。

ぜひ周遊しながら、京都駅東部・東南部エリアをお楽しみください。 ※内容に一部変更が出る場合がございます。最新情報は各イベントの公式ウェブサイトをご覧ください。

1 | 京都市立芸術大学 ギャラリー@KCUA

KYOTO EXPERIMENT 2026 展示

遠藤薫「二十世紀の睡眠法」／ミトゥ・セン「Unwritten Intimacy—暗黙の親密さ」

出品作家：遠藤薫、ミトゥ・セン

10月1日[木]～11月8日[日] 10:00-18:00

ただし、10月3日～4日はパフォーマンス開催のため展示は休館

休館日：10月5日[月]、10月13日[火]、10月19日[月]、10月26日[月]

入場無料

パフォーマンス

10月3日[土] 13:30-／10月4日[日] 12:00-

前売券：一般 ¥3,500、ユース（25歳以下）・学生 ¥3,000、高校生以下 ¥1,000、ペア ¥6,500

当日券：前売料金 + ¥500（高校生以下は同額）

※ミトゥ・センのパフォーマンスは18歳未満入場不可

2 | 京都市立芸術大学 芸術資料館

「京都市立芸術大学美術調査隊ニューギニアに行く」

展示物：ニューギニア民俗資料、近藤豊旧蔵資料 ほか

9月19日[土]～11月23日[月・祝] 10:00-17:00

（月休 ただし、9月21日、10月12日、11月2日、11月23日は開館 9月24日、10月13日、11月4日は休館）

入場無料

3 | 京都市立芸術大学

芸大祭2026「熱源」

出品作家：学生有志（学生による飲食・物販ブース、ステージ発表、美術作品の展示）

11月1日[日]～3日[火・祝] 10:00-19:00

入場無料

4 | 京都市立美術工芸高等学校

BIKO Art Showcase

出品作家：京都市立美術工芸高等学校生徒 ほか

ウィンドウ展示：10月24日[土]～11月23日[月・祝]

5 | TERRADA ART STUDIO 京都

「Unis in Unison 2026 - Kyoto Rising Artists Project」

出品作家 | 宇野真太郎、尾崎いろは、片野夏央、五味紫音、隅愛由美、孫哲琦、

トシャノン カヤ、橋本望未

11月7日[土]～16日[月] 13:00-18:00（11月7日[土]のみ10:00 開館、11月11日[水]休館）

入場無料

6 | 京都駅ビル各所

第2回京都駅ビル芸術祭 ゲイジツノエキ2026/GNE

10月17日[土]～11月3日[火・祝]

入場無料（一部ワークショップ・体験企画、特別ツアーは有料）

7 | HAPS HOUSE

Enjoy Exhibition Club #14

出品作家：遊 象形的設計感行方知レズ、達造園、イシイタカヒロ

10月23日[金]～11月15日[日] 14:00-19:00（金土日のみ） | 入場無料

8 | 34-1-3のアトリエ

南山王町34-1-3のオープンアトリエの日 2026

出品作家 | 安藤湖春、土屋咲瑛、森本ゆい

11月21日[土]～23日[月・祝] 13:00-19:00 | 入場無料

9 | THEATRE E9 KYOTO

KYOTO EXPERIMENT 2026

Asian Playwright Project

アヒラン・カルナハラン、神里雄大、上田久美子

バルバライソの長い坂をくだる話 | 10月10日[土] 19:30 / 10月11日[日] 12:00

帯いのあした | 10月11日[日] 15:30 / 10月12日[月・祝] 15:00

前売券：一般 ¥3,000、ユース（25歳以下）・学生 ¥2,500、高校生以下 ¥1,000、ペア ¥5,500

当日券：前売料金 + ¥500（高校生以下は同額）

Asian Playwright Projectセット券* ¥5,500 *両演目を観劇できるセット券

10 | 南岩本公園／The Paddock Cafe

MEET THE HORSES & vug

出品作家 | vug

10月24日[土]～11月23日[月・祝] 9:00-17:00

南岩本公園内、カフェ壁面展示

11 | 高瀬川

京都市立芸術大学学生等による有志展

出品作家 | 学生等有志（美術作品の展示など） | 11月21日[土]～23日[月・祝] | 入場無料

12 | 九条湯

ARTAOTA 2026

11月21日[土] 13:00-、22日[日] 終日、23日[月・祝] -15:00 | 入場無料

13 | GALLERY GARAGE

FAMILIAR

出品作家 | 立花光、戸田樹、横井菜々

キュレーター | 谷口雄基

10月23日[金]～11月3日[火・祝] 13:00-19:00（月金土日のみ。最終日は17:00まで）

入場無料

二度目の風景：Recovered from Circulation

出品作家 | 要、久次良、高砂海斗、中村紗友里、堀江優希

キュレーター | 北村侑紀佳

11月17日[火]～29日[日] 13:00-19:00（月休、最終日は17:00まで） | 入場無料



Lightseeing Kyoto South

発行：令和8年9月／総合企画局総合政策室 京都市印刷物 第081570号

📍 崇仁市営住宅9棟

10月24日[土]~11月23日[月・祝]
13:00~18:00 (金土日祝のみ) | 入場無料

📍 hatoba cafe

10月24日[土]~11月23日[月・祝]
13:00~18:00 (金土日祝のみ) | 入場無料
カフェ営業時間:11:00~19:00 (月金土のみ)
(休館日:11月3日[火・祝])

📍 ギャラリー京都七条

10月24日[土]~11月23日[月・祝]
13:00~18:00 (金土日祝のみ) | 入場無料

📍 京都駅ビル 7階「東広場」

10月17日[土]~11月3日[火・祝] | 13:00~20:00
入場無料

📍 連携イベント

1 | 京都市立芸術大学 ギャラリー @KCUA

10月1日[木]~11月8日[日] 10:00~18:00
(ただし、10月3日~4日はパフォーマンス開催のため展示は休館)
(休館日:10月5日[月]、13日[火]、19日[月]、26日[月])
パフォーマンス
10月3日[土] 13:30~ / 10月4日[日] 12:00~ | 入場料:有料

2 | 京都市立芸術大学 芸術資料館

9月19日[土]~11月23日[月・祝] 10:00~17:00
(月休 ただし、9月21日、10月12日、11月2日、11月23日は開館
9月24日、10月13日、11月4日は休館)

3 | 京都市立芸術大学

11月1日[日]~3日[火・祝] 10:00~19:00

4 | 京都市立美術工芸高等学校

ウィンドウ展示 | 10月24日[土]~11月23日[月・祝]

5 | TERRADA ART STUDIO 京都

11月7日[土]~16日[月] 13:00~18:00
(11月7日[土]のみ10:00より開館、11月11日[水]休館)

6 | 京都駅ビル各所

10月17日[土]~11月3日[火・祝] 10:00~23:00

7 | HAPS HOUSE

10月23日[金]~11月15日[日] 14:00~19:00 (金土日のみ)

8 | 34-1-3のアトリエ

11月21日[土]~23日[月・祝] 13:00~19:00

9 | THEATRE E9 KYOTO

10月10日[土] 19:30 / 10月11日[日] 12:00
10月11日[日] 15:30 / 10月12日[月・祝] 15:00
入場料:有料

10 | 南岩本公園 / The Paddock Cafe

10月24日[土]~11月23日[月・祝] 9:00~17:00
南岩本公園内、カフェ壁面展示

11 | 高瀬川

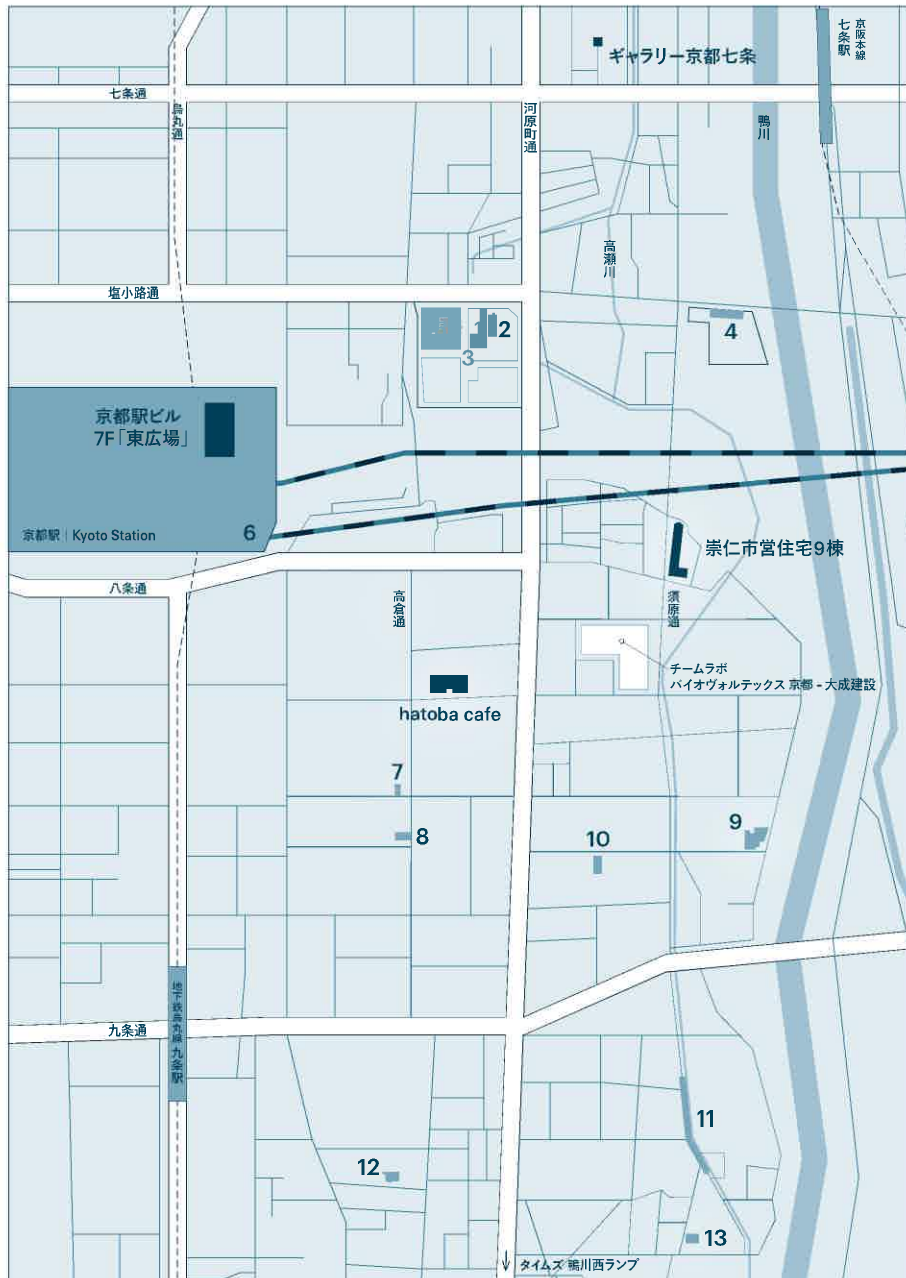
11月21日[土]~23日[月・祝]

12 | 九条湯

11月21日[土] 13:00~、22日[日] 終日、23日[月・祝] ~15:00

13 | GALLERY GARAGE

10月23日[金]~11月3日[火・祝]
13:00~19:00 (月金土日のみ、最終日は17:00まで)
11月17日[火]~29日[日] 13:00~19:00
(月休、最終日は17:00まで)



アクセス

◎鉄道・バスをご利用の場合

- JR・近鉄・京都市営地下鉄「京都」駅より徒歩
- 京阪本線「七条」駅より徒歩
- 京都市営バス「七条河原町」「河原町八条」より徒歩

京都市では、駅近くの駐車場に車を止めて公共交通機関に乗り換え、お得に目的地へ向かうパークアンドライドを推進しています。
タイムズ鴨川西ランプ駐車場をはじめ、パークアンドライド駐車場をぜひご利用ください。



Instagram: @lightseeing_kyoto_south



会場マップ (Google Maps)

キュレーターのおすすめスポットもご覧いただけます。
みなさんのおすすめスポットも募集中!

主催



技術協賛



協賛



協力

株式会社いろいろ ギャラリー京都七条



キュレーター:大倉佑亮、渡邊賢太郎

ローカルコミュニケーション:山田真梨子

広報:熊野豊、平井志歩

ゼノグラフィ:たま製作所 (小西由悟、岩山夏己、木綿要介)

グラフィックデザイン:塩谷啓悟

お問い合わせ:

108 Artworks (企画・運営) | info@108artworks.com

※内容の一部変更が出る場合がございます。最新情報は各イベントの公式ウェブサイトをご覧ください。